

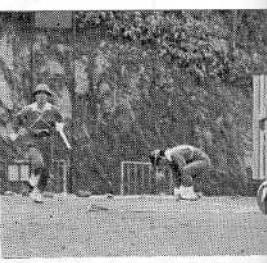
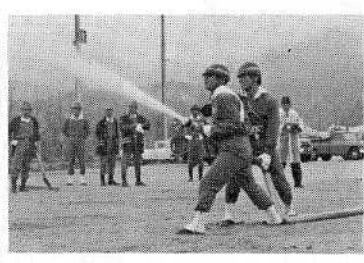
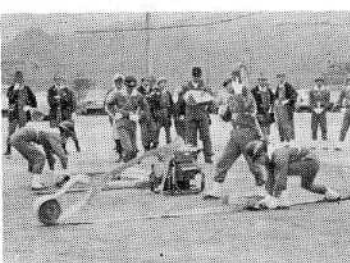
ひがし しらかわ 広報

No. 190
'51 5 / 20

人口の動き

| | |
|--------------|--------|
| 人口 | 3,934人 |
| 世帯 | 954世帯 |
| 出生 | 2人 |
| 死亡 | 2人 |
| 転入 | 28人 |
| 転出 | 38人 |
| —4月末住民登録人口から | |

■ 発行 / 岐阜県加茂郡東白川村 ■ 編集 / 企画広報課 ■ 印刷 / 関市中部印刷社



村を守る この気迫

私たちが安心して生活することが
できる陰に、200人消防団員
のたゆまぬ努力があることを忘れ
てはならない。

一村消防操法大会 関連記事5ページ



主な

- ブラジルから里帰りの話題…2
- 安子さん親子帰国…
- 村消防操法大会…
- 老人クラブが山林緑化に一役…
- 朝日農業賞受賞…
- 充実する本村の体育振興…8
- 文化財保護に協力を…
- 闘病手記…
- 東京村人会総会レポート…

ブラジルから53年ぶり

—伊藤くにあ・三浦香さん親子里帰り—



中国から里帰りされていた安江宏子さんの帰国と入れ違いにこんどは、ブラジルから里帰りの話題です。

里帰りされたのは、越原日向出身の伊藤くにあさん（79歳）、三浦香さん（53歳）親子です。核が満開の四月十五日、五十三年ぶりに、ふるさとの土を踏まれた伊藤さん親子は、生家の松岡恭三さん宅で、ふるさとの春を満喫されています。

移住ということばを聞けば、すぐ、ブラジルという国の名が浮かんでくるほど、ブラジルは日本人にとってなじみの深い国です。

岐阜県でのブラジル移住は、大正二年に始まり、大正年間、六十五家族二百六十人、昭和に入ってから十六年移住中断までに、二百六十二家族千三百四十人、二十七年移住が再開されてから、二百四十六家族五百四十二人の人たちが移住され、在伯県人は、二世三世を含め約一万人と推定されています。

四月二十八日、村長ら関係者が松岡恭三さん宅へ、伊藤くにあさん親子を訪問し未知の世界での生活に、私たちが想像もできないかん難辛苦と努力をされた労をねぎらうとともに、ブラジルでの生活模様を伺いました。

伊藤さん親子の話から、外国での生活を夢をはせてみて下さい。

話を聞いた人

| | |
|--------|------|
| 村長 | 安江多策 |
| 助役 | 高木史郎 |
| 教育長 | 桂川真郷 |
| 企画広報課長 | 田口博 |
| 企画広報係長 | 安江公平 |
| | 村雲寛 |

親の反対 押し切り移住

村長 お疲れのところおじやまして申しわけありません。今日は、ブラジルでのお話しを伺ったり、村の現状などお話しし、海外でたいへん発展しておられる伊藤さん三浦さんを歓迎したいという気持ちでおじやしました。

また、村の人たちもブラジルでの生活の模様を知りたいといっておりますから、今日のお話しを、広報で紹介いたしますので、よろしくお願ひします。

企画広報課長 まず、ブラジルへ行かれた、動気を伺いたいのです。くにあさん 私たちは（主人政夫氏十三年前没）分家で、田畑も少なかったし、ブラジルという所は

いい所で、一年に三回もお米がとれるとか聞いて思い立ちました。でも、決心するまで、随分迷いました。

私が二十七歳で香が生後八カ月のとき十歳になる長男（邦男氏）五歳になる二男（敬一氏）と一家五人で、両親や親せきの反対を押し切り、でかけました。

風呂おけの中に、百姓道具を入れて行きました。その風呂を長いこと使いましたよ。

村長 何年に行かれたのですか。くにあさん 大正十二年でございます。一年ぐらいい前に、井戸末次郎さん（陰地出身）や長瀬春吉さん（黒淵出身）が行きました。

議長 私の十一歳のときですね。邦男さんは、私より一つ下で、お互い悪かった記憶があります。

助役 船で幾日もかかったでしょうね。くにあさん ええ、神戸から出港して五十日ぐらいいかりました。

サンパウロ州の南に寄ったサントスへ上陸し、そこから近いレジスト植民地へ入りました。向こうへ



伊藤くにあさん

着いた当時は、食物も違いますし気候も違い、また、ことばもわからないし、随分苦労しました。

村長 初めは、農業をされたのですか。くにあさん はい。私たちは自由移民でしたから、沖繩県人の土地を買って、そこで始めました。

小さなホッタテ小屋でしたよ、そこらには、家らしい家はありませんでした。

教育長 現在は、お母さんと別々に住んでおられますか。香さん ええ、母は、マリंगाという所に居ます。サンパウロから車で十時間ぐらいいです。私は結婚してサンパウロに住んでいます。

（ご主人は東京出身、九歳のとき移住、現在弁護士）
企画広報課長 お母さんのほうは農業をやっておられますか。くにあさん 今はやめて、雑貨商をしています。日本の商品もたくさんありますよ。

みじめだった戦時中

助役 日本が敗戦になった頃は、窮乏な思いをされたことだと思いますが。くにあさん 日本へ帰って、お話しを伺いますと、大事な息子さんやお孫さんを亡くされたという悲しい話を聞きました。向こうでもみじめなものでした。

日本語を使えば、お巡りさんにひっぱられました。また、終戦になってからも、日本人同志が「勝った」「負けた」という争いが起き、殺し合いまでありました。

議長 今、もうわだかまりはないでしょう。
香さん もうありません。日本もこんなに立派になって、今では、日本人であることが誇り高い気持ちです。

ブラジルは今が

秋たけなわ

村長 気候はどうなんですか。
香さん 今ブラジルは秋ですね。六月二十一日から冬になります。ですから正月は夏ですよ。
企画広報課長 ブラジルというのたいへん暑い国のように思っていますか。
香さん サンパウロは、地図でおわかりのように、赤道からだいぶ南ですので、そんなに暑くありません。同じブラジルでも、リオから北上すると暑くなります。冬でも暑いそうです。

教育長 四季はどうなんですか。
香さん 日本のような変化はありません。いつも夏のような春のよう。秋といっても紅葉はありません。木の葉は落ちますが、落ちるとすぐ芽が出てきます。

田舎では

味そも自家製

助役 食事は、パン食ですか、お米ですか。
香さん 朝はパン食です。昼はご飯ですよ。日本式の白いご飯にする人もありますし、油ご飯にする人も、いろいろです。

村長 味そ汁なんか作りますか。
香さん はい、もちろんです。お漬物でもなんでもありますよ。
議長 味そは買うのですか。
香さん 田舎のほうでは自家製です。味そもたまりもね。私たちは買ってますけど。

企画広報課長 向こうのお米はどうですか、おいしいですか。
香さん やっぱり、日本のお米はおいしいですね。向こうのは、陸稲ですからほろほろしています。白いご飯とか、お寿しをするときは、リオグランデ米を買います。



三浦 香さん

活躍している日本人

議長 丑之助さん(栃山出身)は一昨年、里帰りされましたが、ご存知でしたか。
香さん ええ、知ってました。

議長 あの人は、岐阜県人会にお勤めでしたか。
香さん そうでしたが、この前電話したら、ブラグワの方へ引越されたようでした。

議長 それじゃ、お兄さん(錠一さん)の方へ行かれたのですね。錠一さんは養蚕もやったりされるそうですねですよ。
村長 あのかたは、私の居

る所から、六十歳ぐらいはなれた所で、桐の栽培もやっておられると聞きました。
議長 桂川政子さん(陰地出身)も昨年帰られましたか。
村長 あのかたは、サンパウロから車で、一時間半ほどはなれたゲーザーという所におられて、弟さんが大きな薬局を経営されています。

村長 ブラジルでの日本人の活躍ぶりはどうですか。
香さん ええ、二世三世では、立派な人がおられ、大臣まで出ました。二人目の大臣ですね。
企画広報課長 ブラジルは、世界各国から移住されていると思いますが、他の国と比較していかがですか。

香さん その点、日本人は立派ですよ。でも、日本は移住して歴史が浅いですし、他の国は、百年以上が多く、ドイツ、イタリアなどは、五世六世になっていますから偉い人も大勢出ています。でも、日本は二世ぐらいでそういう人が出ていますから、これからは楽しみです。

遅れている教育

教育長 教育・文明といった点はどうですか。
香さん ブラジルはバカ広いでしょう。ですから教育がすみずみまで、行き届かないのです。読み書きのできない人も多くいます。北のほうは、経済的に恵まれていますから、食べるのに困る

人もいるのです。ですから教育は随分おくられています。
議長 電気とか、電話はどうですか。
香さん 十年前に聞きましたが、日本では、国のすみずみまで電気がひけ、電話が普及していると聞いてびっくりしました。ブラジルは、まだまだですね。なにしろ広いですから。

村長 貨幣価値はどうですか。
香さん 日本とそんなに変わりません。向こうは、クルゼールという単位ですが、一ドルが十クルゼールです。普通のサラリーマンの月給が、六百五十クルゼールぐらいです。
助役 宗教はキリスト教ですか。
香さん 主にカトリックですが、キリスト教、仏教、天理教、生長の家など、何でもあります。お寺さんもあります。神官さんはいないですね。

懐かしい

ふるさとの言葉

村長 羽田へ着かれた日本の第一印象はどうでしたか。
香さん 東京に二泊してきましたがすばらしい大都市ですね。村長 情報が発達してますから、想像はなさったでしょう。

村長 向こうでも、朝の一時、日本から直接ラジオ放送がありますし、日本の新聞も二種類、また、テレビ、映画などで見えますから、そんなにとまどいませんでした。

村長 東白川は変わってないでしょう。
香さん ええ、ちっとも変わっていません。木まで昔のまま、柿の木も、カヤの木も、私の子供のときのままで、よけい懐しくってね。

先日、同級生と会って話していたら、「しんたがぬける」「だちやかん」「かんかない」「どきない」などという言葉を、五十二年ぶりに聞いてほんとうに懐しくうれしかったです。
村長 おおあさん、「故郷はこんなきれいな所だ」と向こうへ帰られたら見せてあげてください。(パンフレットを手渡す)

村長 ここは茶所ですが、向こうでは、お茶はどうですか。
香さん 向こうで生まれたものはそれほどでもないですが、ほんとうのお茶の味を知ったものは白川茶はおいしくて、送ってもらって、近所の人にもわけてあげています。

企画広報課長 いっごろまで滞在されますか。
香さん 二カ月の予定です。五月二十二日ごろ東京へ出て、東京見物をして帰るつもりです。

村長 今日、お疲れのところいろいろお話しを伺ってありがとうございます。これからも健康に十分気をつけられて、頑張ってください。

お元気で宏子さん

ふるさとの思い出を胸に帰国

昨年十月十四日、中国から三十二年ぶりに、夢にまで見たふるさとに里帰りされた安江宏子さん、雪ちゃん親子は、弟の和生さん一家と、同級生の人たちと、また、村の多くの人たちの暖かい援護の中で楽しい時を過ごされました。

許可された滞在期間六カ月間もあつという間に過ぎ去り、いろいろの思い出を胸に、四月十三日、羽田発の中華民航機で、夫や子供たちの待ちわびる中国へ帰られました。

出発が目前に迫った十日に、宏子さんを励ます会と、村が主催する送別会が開かれました。

送別会は、村民センターの大ホールで開かれ、村長はじめ関係者から、お別れや激励のあいさつがあり、その席で村長から、宏子さんの里帰りにおほねおりました。いただいた中華人民共和国湯原県革命委員会へお礼のメッセージと記念品が宏子さんに託されました。

また会場には一般の人たちも多く参加され、

最後の別れをおしむ宏子さん、雪ちゃん親子と見送りの人たち



すがすがしい目と、いつも絶やさないかわいほほえみが、悲しくなりがちな別れの会をなごやかなものにしてくれました。

ついに出発の日がきました。十三日朝八時、役場前へ約百人の人たちが見送りにつめかけました。「お元気で」「ありがとうございました」後は涙、涙で言葉にならず、ただ手と手をしっかりと握り合うだけでした。

身内の人たちと、村長はじめ関係者は、羽田空港まで見送りを共にしました。

羽田空港十七番スポットに身を横たえている中華民航機のタラップを元氣な足どりで上る宏子さん親子、四時十五分、見送りの人たちが見つめるなかを、一路北京をめざし、春雨にけむる羽田上空に消えていきました。

宏子さんの里帰りは、戦後三十年、ぬくぬくと幸せの中に生活している私たちに戦争というものの爪あとを、もう一度考えさせてくれました。

また、中国の人々の簡素ながら節度ある堅実な生活の模様を知ることができました。

そしてこんどは、宏子さんの帰国で、中国の人たちに日本の様子を知ってもらえるでしょう。雪ちゃんの口から中国の

子供たちに、日本の子供たちのことが伝えられるでしょう。

宏子さん親子を介して、中国のことが、日本のことがお互いに知り合えることができるという事は

ふるさとの皆様、六カ月間という長い間、本当にお世話になりました。

皆様の暖かい懐にいだかれての六カ月間は夢のごとく過ぎ去ってしまい、いよいよお別れの日が目前にせまっています。

後髪をひかれるような思いで再び中国の地へ帰ります。

昨年十月十四日、喜びにおどる胸をおさえて、三十二年振り懐かしい故郷の土を踏みしめて以来月日の流れは早く、きれいな白川のほとりに紅葉の秋をむかえ、あつと思う間に落葉の冬をむかえ、そして、今はもう桜花もほころぶ春をむかえました。

思いかえせば長いようで短かった六カ月間、故郷の皆さんには本当にいろいろとお世話になりました。何とお礼申し上げてよいかわかりません。

親、兄弟にも勝る暖かいご親切にあまえて、中国に帰りたくないと思う日さえありました。

でも、中国では家族が私たちの

お別れのメッセージ

切 親 暖 かい 忘 れ ない

貴重なことだといえます。

宏子さん、雪ちゃん親子が健康で幸せな日々を過ごされ、再び里帰りされることを祈りましょう。

帰国を待っていてくれます。

故郷の皆様美しく、暖かいご親切を、お世話になった数々のうれしい話しを胸いっぱいひめて話せる時の楽しみをいっさい、元気で帰って行こうと誓っております。

もう幾年過るとも皆様には再びお会いできる日がない事と存じます。何とぞお体を大切に、こないだいい東白川にいつまでも健康で長生きして下さい。生涯忘れることのできない故郷の皆様、本当にありがとうございます。

つきぬ名残りにあふれる涙をじっとたえ、元氣を出して帰っていきます。皆様さようなら

雪ちゃんより

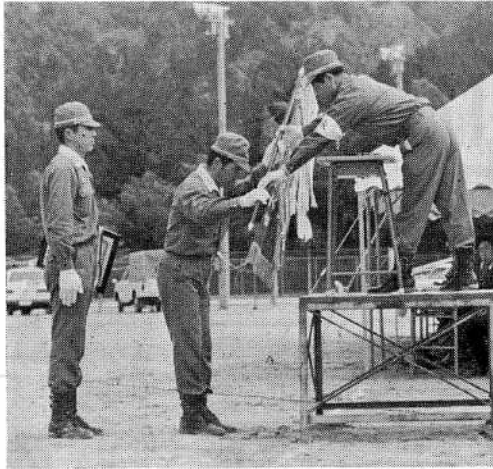
おじさん、おばさん、お友達の皆様お世話になりました。ありがとうございました。

大きくなったら日本にこれますお願ひします。皆様お元気でね。さようなら。

村消防操法大会

第4ポンプが優勝

小雨の中で14チーム激戦



▲ 総合優勝の第1分団へ優勝旗授与

大会当日は、あいにくの小雨となりましたが午前十時に盛夏服をかためた団員二百名、自動車ポンプ二台、小型動力ポンプ十四台が参加、開会式に臨みました。

第三分団安江政義君の力強い選手宣誓があり十時四十分第三分団第九ポンプを皮切りに操法が開始されました。各ポンプとも実力を遺憾なく発揮するとともに、会場係、ホース撤収係などの陰の力、それに応援する一般団員が一つになって、大会はすばらしい盛り上がりを見せ消防庁長官表彰の名に恥じないものとなりました。

で、火災の鎮圧に有効適切な消防活動を確保しようとするのが目的です。



▲ 勝負の瞬間

また、自動車ポンプも基本操法をひろろし、大会に花をそよました。

■分団表彰
優勝 第一分団
二位 第二分団
三位 第三分団
優勝 第一分団第四ポンプ(村雲 敬美、安江啓次、田口光洋、安江保、村雲勝也)
二位 第一分団第六ポンプ
三位 第三分団第十二ポンプ
四位 第二分団第七ポンプ
五位 第一分団第二ポンプ

真桑文楽上演

みごとな人形さばき

味わい深い伝統の芸能

さる四月四日(日)、東白川体育館において真桑文楽が上演されました。

当時同地方にあったいわゆる真桑用水の分水問題に献身的に努力した福田源七郎(元禄五年没)の徳を賛え、その恩恵を忘れぬために



▲ 青年が演ずる三番叟

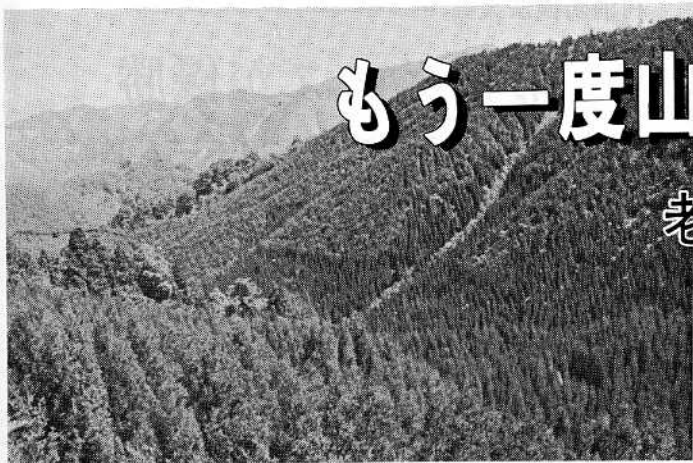
「美濃源七郎」という操り人形芝居を仕組んで上演したのが最初といわれます。以来今日まで三百年間上演を続けてきました。また、

価値の高さでは、大阪文楽が度重なる災害によって古い人形をほとんど失っているのに対して、真桑においては、大阪ではすでに見られない古い頭を有しており、国宝級のものとして賞賛され、昭和三十一年二月には県の無形文化財の指定を受け、真桑文楽人形芝居演舞場も県の民俗文化財に指定されており、毎年三月二十四日、二十五日に氏神物部神社の祭りにこの演舞場において上演されます。

本村においては、歌舞伎などを上演する舞台もないので、村民には久しぶりの機会でした。特設の舞台上で上演される「傾城阿波の鳴門」巡礼歌の段々、「絵本太功記」十段目、他など、一行二十五人のみなさんのみごとな芸に、およそ二百三十名の観衆はうっとり最後まで熱心に観賞しましたこの郷愁の芸能といえる文楽を心の奥深くじっくりあじわい、心と心のふれあいを強く感じるひとときでした。

もう一度山林を見直そう

老人クラブが緑化に一役



老人クラブ常盤会（会長中島礼太郎さん、会員九十人）では、山林緑化に少しでも役立とうと、四月十六日に自分たちの苗圃で検の稚苗の植付け作業を行いました。花曇りのこの日、会員約五十人が出て、六アールの苗圃に二万本の稚苗が整然と植えられました。

この苗は、来年もう一度植え替え、五十三年の春には山行き苗として、村内の植林苗の自給に一役買うことになっています。

何十年か先の美林を脳裏に描き五鉢足らずの苗を一本一本心をこめ植えられる姿は山に囲まれて育つ私たちに山の尊さありがたさをかみしめてみなければいけないと感じさせるものがありました。

海に面しない県はいくつあるかご存じでしょうか。岐阜県もその一つです。

岐阜県で山林の占める割合は、八三割、その中で東白川村は全体の九〇割を山林で占める文字どおりの山村です。

こうした山の中で生まれ、育った者は、ややもするとまわりの山のことを忘れがちです。

私たちの祖先が生活を始めたころは、大部分が森林におおわれていたことでしょう。その人たちは森の中で獣や鳥を取り、木の実を取り、森林の恵みの中で生活していました。人がふえ森林を農耕地



▲心をこめて植付け作業

子孫のころから山に親しみを

特に将来山づくりを担う小・中学校の子供たちには、家族そろって山へ出かけ、植林や林の手入れをしたり、我が家の所有山林の面積や木の大きさなどを調べたり、山林に育つ植物や昆虫などを観察したりして山林に親しむようにしたいものです。

山に親しむことが、愛情をもって森林を育て、活力ある森林の造成につながるのです。

県では、毎年五月の第三日曜日を「愛林の日」と定め、家族そろって山に親しむ運動をしています。この運動の普及と推進を図るために、

一、写真コンクール
（締め切りは七月末日で対象は一般）

二、ポスター募集（締め切りは六月末日で対象は小・中学生）

を実施します。奮って応募ください。（詳しいことをお知りになりたいかたは、県庁林政課へ。電話岐阜七二局一一一―一番内線二四七一番）

ひがししらかわ



■人の動きあれこれ

（四月）
坂 今井 久美子 千絵美 章 長女

（大明神）安江 廣文 良子 三女



いつまでもおしあわせに

（四月）

- 山口 和志（陰地）
- 中島きみ子（西洞）
- 安江 正徳（下親田）
- 安江 澄江（陰地）
- 高井 孝二（黒淵）
- 桂川すみ江（柏本）
- 鈴木 裕尚（大明神）
- 安江ひとみ（大明神）



おくやみおしあげます

（四月）
藤井 勝治（大沢）
今井 あや（下野）

■戸籍手数料を改定
五月一日から戸籍の手数料が次のように改定になりました。

— 村の養蚕振興 —

長年の努力実を結ぶ

喜びの朝日農業賞を受賞

東白川村は省力化と繭質改善に
よって岐阜県下でも、最もまとま
った養蚕村として
位置づけられてい
ますが、その実績
が認められて東白
川村養蚕組合に対
して朝日農業賞が
授与されました。
また養蚕組合長
今井好美さんは長
年にわたる養蚕振
興の功労により大
日本蚕糸会蚕糸功



▲ 喜びの今井好美さんと
田内普及員

労賞の受賞が決定しました。
朝日農業賞は朝日新聞社が権威

農作業雇用賃金決まる

昭和51年の農作業雇用賃金が、農業委員会において各分野から検討された結果、次のように決定しました。昨年とほぼ同様ですが、雇入れる人も仕事に出る人もお互いにしっかり守って下さい。

【重点事項】

1. 仕事に出る人は必ず弁当持参とする。
2. 賃金は、時間給で合理的に支払う。
3. 夕食の提供や「おしきせ」はやめる。

雇用賃金(昭和51年)

| 区分 | 摘要 | 賃金 |
|-----------|-------------|--------|
| 一般農作業 | 1日(8時間) | 4,000円 |
| | | 2,500 |
| 水田耕起 | 1日(機械、燃料もち) | 12,000 |
| 〃代掻 | 1日(〃〃) | 12,000 |
| 〃荒掻 | 1日(〃〃) | 12,000 |
| 田植刈 | 1日(〃〃) | 10,000 |
| 稲(結束系雇主も) | 1日(〃〃) | 12,000 |
| 茶摘み | 1日(〃〃) | 7,500 |
| | | 2,500 |
| | 1日(手摘み) | 2,500 |

第七回岐阜県茶総合品評会が、八月二十六日日本村で開かれることに決まりました。
昭和四十五年(第一回)の品評会が開かれてから昨年の第六回まで本村の成績は、茶業関係者の努力により連続六回にわたり一等一席(農林大臣賞)を獲得、さらにほとんどの出品茶が上位入賞するなど輝かしい成績を挙げています。
県下の茶産地としての位置にある本村では、一度は地元開催を引継ぎ受けなければならない立場にあり、目下その準備が進められています。
これを契機に、本場白川茶の名

岐阜県茶品評会が本村で

連続七回の農林大臣賞めざす

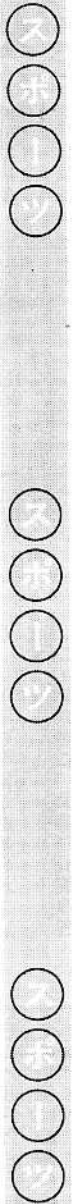
声を高めるために、一等一席はむろん、上位入賞を果たすことが必要で村ぐるみの理解と協力によって盛り立てたいものです。
今までの品評会出品は、村の茶業振興会一本で進められてきましたが、今年から各工場の自由競争に切り替え、それぞれ入賞を目指すことになりました。
現在、十五、六点の出品が予定されています。
尚、白川茶の共販が、五月十二日から開かれています。六月十五日までに十回が予定され、三回終了までの単価は好調のようです。

ある審査会をもうけて、この審査により、自主的な創意工夫により困難な自然的、社会的条件を克服して農業の振興に著しい成果をあげた営農集団を表彰するもので、各都道府県単位にそれぞれ一団体のみ選定されます。
中山間地の恵まれない条件下で経営の拡大と良質繭の生産に成果をあげ、岐阜県のモデル養蚕地域となった私たちの村にはうってつけの賞といえます。
大日本蚕糸会蚕糸功労賞は養蚕振興に功績のあつた個人に授賞さ

れるもので今回の今井好美さんの前には、前農協組合長田口義吉さんが昭和四十六年、前養蚕組合長安江化平さんが昭和四十八年と、本村では三人目の受賞です。
このような受賞を背景にして今年(養蚕期)を迎えましたが、まゆ保証価格の上昇等によって養蚕収入の増加が期待できます。
各農家とも精一杯の飼育計画を樹て五月二十三日の第一回の稚蚕飼育をはじめに年間四万キログラムの生産をめざしてスタートしています。

- 寄付のご紹介
- 戸籍謄抄本 一通につき二百円
 - 除籍謄抄本 一通につき三百円
 - いままでは謄抄本の単位が「二枚につき」でしたが、今回の改正で、「一通につき」となりました。
 - 戸籍の記載事項証明 証明事項一件につき五百円
 - 除籍の記載事項証明 証明事項一件につき二百円
 - 受理証明書 一通につき五百円
 - 戸籍簿の閲覧 一戸籍につき二百円
 - 除籍簿の閲覧 一戸籍につき二百円

- 村内各保育園へ次のような寄付がありました。 敬称略
- 神戸保育園へ
- プレハブ物置 一棟 木村成人
- 遊具 一輪車 八台
- 第十二回卒園児保護者一同
- 鉄製ベンチ 二脚
- 昭和五十年年度保護者
- 絵本 五十冊 渡辺 久子
- 古田美穂子
- 越原保育園へ
- 金三万円也(児童図書購入)
- 昭和五十年年度卒園児一同
- 金二万円也(長椅子四脚購入)
- 越原青年団
- 童謡全集レコード一組ほか
- 古田 妙子
- 金二万二千元也(児童図書購入代として)
- 桂川 直衛
- 古田美佐子
- 田口太恵子



日常生活の中における体育、スポーツ活動は、住民の生活を明るく豊かにする大きな要素であることが認識されてきた今日、本村のスポーツ熱は、年ごとに高まり今やスポーツは単なる遊びとしてではなく、地域住民の緩和、親睦の媒体として大きな役割りを果たしています。

村ぐるみでスポーツを

今年度の体育事業計画決まる

教育委員会では、このような村の人たちの要求に答えるため、昭和五十一年度の体育事業の計画を立て、村内各層から参加していただけの行事を考えました。

本年度のスポーツ振興施策の特徴は次のようになっていきます。

一、平素スポーツに親しむ機会の少ない壮年や家庭婦人が余暇を利用して手軽に楽しめるスポーツの振興を図る。

二、地域（組）における体育スポーツ活動を重視し、指導者の派遣と活動の機会を提供する。

三、スポーツ行事をとおして、その積み上げの過程で住民の連帯意識を高め、融和を図るとともに自主的なグループに育つよう指導する。

教育委員会が行う事業のほかに東白川村体育協会やスポーツの種目別団体が行う事業があります。現在体育協会では、七月に行われる加茂郡体育大会の練習に入っ

ていますが、それぞれの部への入部も呼びかけています。

昭和51年度体育事業計画

| 期日 | 行 事 名 | 場 所 |
|--------|-----------------|-----------|
| 4月25日 | ソフトボール第3種審判員講習会 | 東白川総合運動場 |
| 5月5日 | 第2回オリエンテーリング大会 | 越原日向地区 |
| 6月20日 | ソフトボール教室（壮年、婦人） | 東白川総合運動場 |
| 6月27日 | スポーツテスト会 | 東白川体育館 |
| 7月18日 | 加茂郡青年体育大会 | |
| 7月25日 | 第20回加茂郡体育大会 | 坂祝町、富加町 |
| 8月3日 | 子ども会ソフトボール大会 | 東白川総合運動場 |
| 8月15日 | 第8回可茂地区体育大会 | 美濃加茂市 |
| 8月22日 | 第5回村民親睦野球大会 | 東白川総合運動場 |
| 9月12日 | 中学校体育大会 | 〃 |
| 9月26日 | 第28回岐阜県体育大会 | 岐阜市 |
| 10月3日 | 各小学校運動会 | |
| 10月10日 | 第2回壮年ソフトボール大会 | 東白川総合運動場 |
| 10月17日 | 第8回村民親睦ソフトボール大会 | 〃 |
| 10月 | 家庭婦人ソフトボール教室発表会 | 〃 |
| 11月3日 | 第4回村民運動会 | 〃 |
| 11月28日 | 第7回村民親睦卓球大会 | 東白川体育館 |
| 12月5日 | 第12回加茂駅伝大会 | 八百津～美濃加茂市 |
| 1月2日 | 第5回新春バスケットボール大会 | 東白川体育館 |
| 1月9日 | 子ども会卓球大会 | 〃 |
| 1月30日 | 第3回村民親睦スキー大会 | |
| 2月13日 | 第4回村民親睦剣道大会 | 東白川体育館 |
| 2月27日 | スポーツテスト会 | 〃 |

この外東白川軟式野球連盟の試合、種目別対外試合があります。

- 入部を希望される方は次の部長または、教育委員会社会体育係へ連絡して下さい。
- バスケットボール部 古田 公平（平）
- バレーボール部 安江 誠（大明神）
- 家庭婦人バレーボール部 加藤 寿子（栃山）
- 野球部 安江 建夫（平）
- ソフトボール部 安江司（日向）
- クレー射撃部 安江福夫（平）
- 卓球部 山口 和久（平）
- 家庭婦人卓球五斗あい子（陰地）
- 陸上部 古田 勝彦（平）
- 剣道部 安江 正大（日向）
- テニス部 安江 賢二（平）
- ラクビー部 古田 伸幸（大口）
- スキー部 今井 直美（下野）
- なお、体育振興の底辺拡大にご活躍いただいております体育指導委員は、昨年度に引き続き次のかたがたにご苦願うことになっております。
- 安江 久夫（日向）
- 今井 猛夫（柏木）
- 安倍 徹（西洞）

金三千円也（児童図書購入代として）
一保護者

○五加保育園へ
絵本 十冊

昭和五十年度卒園児保護者一同
本箱 スチール製 古田 晋作
今井八十七己

老人クラブ長寿会から村内各学校へ竹ぼうき四十二本を寄付されました。

教育委員会では、三月十八日早速各学校に配分しました。

親田青年団と婦人会から神明神社祭典の折の甘酒売上金を、

村内で生活にお困りのかたがたにと、現金八千五百二十円寄付されました。

神土茶生産組合から、村内各小中学校の児童、生徒が毎日使うお茶にと、四校へたぐさんの白川茶を寄付していただきました

■献血ありがとうございます

さる四月十三日、県赤十字血液センターの移動献血車（ともしび二号）が来村し、村内二会場で行われ百九名のかたがたの御協力を得ました。

献血は、まず自分自身のためそしてだれにでもできる人助けです。特に交通事故多発の折から、ドライバークのかたは進んで献血に参加されるよう望んでいます。

次回の献血は九月十三日・十四日に実施します。

献血者には次のような優遇措置があります。

四日に実施します。

献血者には次のような優遇措置

置があります。

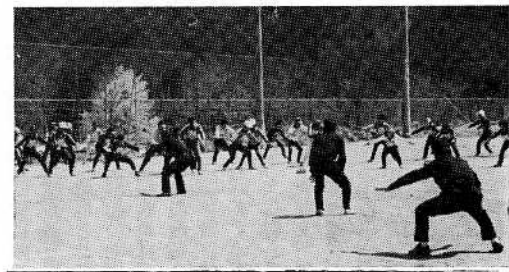
四日に実施します。

献血者には次のような優遇措置

置があります。

ソフトボール審判講習会開く

大盛況村内から51人も受講



▲「セーフ」の動作を練習する受講生

が与えられるのは五月中旬ごろになります。東白川村にソフトボ

四月二十五日の日曜日、東白川村民センターと東白川総合運動場においてソフトボール第三種公認審判員認定講習会が行われました。この講習会には、当初の予定よりはるかに多く、村内から五十一人、村外から十九人、計七十人が参加し、講習を受けました。

受講者に正式に審判員の資格

四月二十五日の日曜日、東白川村民センターと東白川総合運動場においてソフトボール第三種公認審判員認定講習会が行われました。この講習会には、当初の予定よりはるかに多く、村内から五十一人、村外から十九人、計七十人が参加し、講習を受けました。

現在、村には体育指導委員、体育推進員を始め、スポーツ指導員

の審判員が一度に数十人もできるのは画期的なことと、これからのこのかたたちの活躍が期待されています。

中学校課外体育指導員等、体育スポーツの指導にたずさわっている指導者が多くあり、他町村に比べて充実していますが、スポーツ指導及び審判員の有資格者は少なく、資格取得のための養成が強く望まれます。

家庭婦人のスポーツ教室開講

あなたも参加してみませんか

スポーツ熱が盛り上がっている中で、まだまだ家庭の主婦がスポーツに参加する機会が少ないようです。

今年も家庭の主婦を対象にソフトボールとテニスのスポーツ教室を開設しますので参加ください。このスポーツ教室はスポーツを楽しむながら健康保持と、初歩的な基本プレーを身につけるよう指導しますので、どなたでも参加できます。

○開設期間 六月から十一月まで

○申込み方法

五月三十日までに教育委員会

東白川村教育委員会社会体育係
○問合せ先

へ電話でお申込み下さい。

(有線二二七二番 公社電話一五番)

種目と対象地区

| 種目 | 対象地区 | | | 募集人員 | 開設回数 |
|--------|---------|------|------|------|------|
| | 全 | 越 | 親 | | |
| テニス | 全 | 越原上区 | 親田地区 | 三〇人 | 週一回 |
| ソフトボール | 日向・曲坂地区 | 五加地区 | 親田地区 | 三〇人 | 週一回 |

村での受講予定人員

| 講習種目 | 主管 | 講習日数 |
|--------------|---------------|---------|
| スポーツ指導員 | 日本体育協会 | 一泊二日 四回 |
| 軟式野球審判員 | 加茂軟野連 | 一泊二日 二回 |
| オリエンテーリング指導員 | 日本オリエンテーリング協会 | 一泊二日 二回 |
| レクリエーション指導員 | 県レクリエーション協会 | 一泊二日 一回 |
| スポーツテスト判定員 | 県教委 | 一泊二日 一回 |

健康院の検診料改正

健康院での健康診断料が、次のように改定になります。

- 一、献血者とその家族のかたに輸血の必要なときは、献血手帳を医療機関に提示すれば優先的に血液が手に入ります。
 - 二、献血された血液は、血液型判定、梅毒、肝機能検査及び腎機能、高血圧、動脈硬化、糖尿病などの診断に役立つ検査を実施し、異状のあるかたにはお知らせします。
 - 三、輸血を受けられたときは、医療機関に支払われた血液代金自己負担金は、請求手続をされますと無料になります。
- 不正大麻・けしを撲滅しよう
春から夏にかけては、数多くの花が美しく咲きます。「けし」五・六月ごろになると、見事な花を咲かせます。しかし、けしには法律で栽培が禁止されている品種があり、大麻は許可がなければ栽培できません。県では、五月十日から六月末日まで、市町村、警察署、各種関係機関などと密接な連絡のもとに、「不正大麻・けし撲滅運動」を進めます。
- 不正に栽培されているけし、大麻(あさ)や、山野で自然にはえているけしや大麻を発見されたときには、できるだけ早く近くの保健所、あるいは警察署へお届けください。

文化財保護に協力を

包蔵地での工事には届出が必要

村には埋蔵文化財の包蔵地として、別記の七カ所が県教育委員会の遺跡台帳に登録されています。埋蔵文化財とは、先縄文、縄文弥生時代の住民の生活用具（土器ややじりなど）が現在もその土地に埋れていることをいい、包蔵地とは、埋蔵文化財を過去の状態などから調査した結果、まだ数多く埋蔵されている可能性が高い土地のことです。

文化財保護法では、これらの土地の開発にあたって、土木工事等のために埋蔵文化財包蔵地を発掘しなければならぬときは、工事等に着手する日の六十日前までに文化庁長官にその旨を届け出なければならぬことになっております。そして届出を受けた文化庁長官は、埋蔵文化財の保護上特に必要があると認める場合には届出にかかる行為の実施について、必要な指示をすることになってい

ます。また土地の所有者や占有者が出

土品の出土等により貝つか、住居跡、古墳等の遺跡と認められるものを発見したときは、そのままの状態では文化庁長官に届け出なければなりません。文化庁では届け出のあった遺跡が重要なものであり保護する必要があると認めるときは、三ヶ月以内の期間と区域を定めて、現状を変更することとなるような行為の停止又は禁止を命ずることがあります。この命令によって損失を受けた者に対しては、通常生ずべき損失を補償することになっていきます。

以上のように埋蔵文化財包蔵地を発掘しようとするときや、遺跡と認められるものを発見したときには、すみやかに教育委員会へ連絡して下さい。

県教育委員会の遺跡台帳に登録されている埋蔵文化財包蔵地（散布地）

- 日向遺跡 越原大林洞六二五〇
- 六五〇の一
- 池之島遺跡 越原池之島一一〇
- 五の二〇一一一一の一五
- 陰地遺跡 越原陰地九九八の四
- 一〇一〇の一
- 神付遺跡 神土西根一五〇一
- 一五一七の一
- 高知遺跡 神土高畑二二三〇二
- 二六の五
- 大口遺跡 神土大口早稲田三〇
- 三九
- 高根遺跡 五加高根比良八二四
- 八四三

■探しています 切貫岩の古い写真

東白川村文化財審議会では、五加柏本地内の切貫岩の古い写真を

白川高校へは二十一人入学

昭和五十年中卒者の動向

今年も、九十九人が東白川中学校を巣立って行きました。

進学率も年々高くなり、今年は一全日制、定時制合わせて、七十八人が進学しました。

昨年の六十七人を大きく上回った原因の一つに、白川高校の新設があげられます。同校へは二十一人が入学しました。

探しています。現在の道路に拡充される前のものや、拡中当時のものを所蔵されている方がありましたら教育委員会事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

最適な白川高校は、自宅から通学できるといういろいろな面での利点があり、二十一人全員が通学しています。

進学者のうち、十五人が定時制高校へ進みました。勉強と仕事の両立という苦難に立ち向かって行きます。

そして、二十一人が就職し、暖かい親の手からさびしい実社会の荒波の中へ旅立ちました。

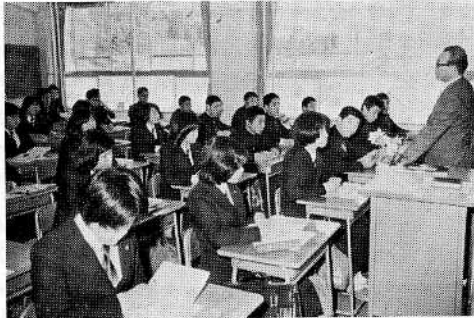
進学、就職してから一カ月余りが過ぎました。特に家を離れて暮らすようになった人たちにとって

はホームシックにかかる時期ではないでしょうか。

おとうさんの、おかあさんのありがたさを、妹、弟のことを、そして、ふるさとの山々を、美しい白川の流れを思い出し、枕がぬれる夜もあることでしょうか。

しかし、そんなさみしさや苦しみは打ち勝ち、雄々しく成長してくるでしょう。

ふるさとを離れ、がんばっている若者たちを遠くから、温かく見守ってあげたいものです。



新教室での授業（白川高校）

警察だより

自動化総合健康診断料一千万五千元が二万円に（五月一日から）

子宮細胞診料一千元が二千元に（四月一日から）

眠くなったら休もう！

過労運転は事故のもと！

新茶の香る季節ともなりますと気温の関係で、知らず知らずのうちに眠くなってくる、一年中で一番眠くなる時期です。

都会からは、寒くて引っ込んでいた人たちが、家族ぐるみで「山の幸」を求めて、多くの車になりました。山道に慣れぬ原因もあり、最近では、過労運転、いねむり運転、無理な運転などにより当署の各地で、転落による交通事故が発生しています。

運転中、眠気をもよおしたときには、車を止め、少しの間でも休養をした後、運転するようにして交通事故の防止につとめてください。

また、過労運転は避け、運転する前には、十分休養をとってから運転するようにしてください。

闘病手記

半身不随から立ち直る

中通 村雲 静雄

村雲さんは、昭和四十三年の一月脳卒中で倒られ、片手片足まひの状態から自分の力で回復され、今では、元気に農業に励んでおられます。

「日ごろの健康管理がいかにたいせつか、またこのような卒中による闘病生活を送っておられる人を少しでも勇気づけることができると」と、手記をよせられましたので紹介します。

病院のベッドの上で片手、片足の動かなくなった身体を横たえていたのが、昭和四十三年の正月のことでした。

俺の人生もこれで終りか、それとも何とか生きる道を見出さなければと思ひ悩む情ない哀れな姿の私でした。

幾日目かおぼえてはいないが、足が動き始めました。狭い病室の中でベッドにつかまって少しずつ歩く練習を始めました。

しかし、手のほうはさっぱり動かない。もうだめだとあきらめていた手の指先が少し動き出したのは足より十日程後のことでした。

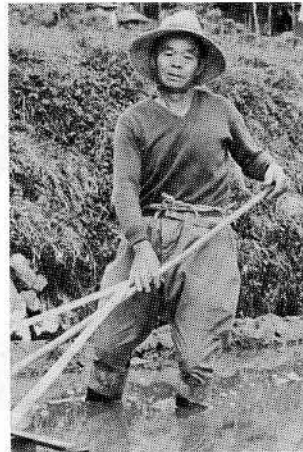
次第に動くようになり、物がにぎれるようになった時のことである。白川町へ嫁に行った三女が流産し、出血多量で輸血をしなければならず、付添って来てくれた妻も家の者全員が行ってしまった。

自分一人の生活がその時から始まった。用便、食事、手伝ってく

りました。

しかし、家に帰ったものの娘の容態は思ったより悪く妻もまた家には帰っておらず、そのため病院に居た時よりも、身のまわり、暖房、食事、不自由とはこの事かと思ひ知らされました。

分でしなければと、足や手に力をつけるため一生懸命でした。やがて握力が二十磅までになりました。その時は本当にうれしかった。



▲ 元気に働かれる村雲さん
力は今でも、二十磅以上はできません。私の身体がどうにか動くようになつたのは、他人に頼らず、自分でしなければならぬ事は自分でやる努力が、私の身体をこんなに良くしたのだと思います。

けいじはん

山火災の防止に協力しよう。新緑や「山の幸」を求め、家族ぐるみのレジャー部隊がやって来ます。山の中へ入り、ついうっかり何の気なしに投げ捨てた、たばこの吸がらなどによって大事に至ったこともあります。もし、そんなことを見つけたら注意してやるように心がけてください。また、不審な車は「ナンバー」チェックをしておいて、今後の参考のため時間、場所なども、ともに記録しておくよう協力してください。

歩けるようになり退院して家に帰

れる人の無くなってしまった今人はあまえる事が許されない本当につらい毎日でした。

よりやく壁につかまらなくなるとも歩けるようになり退院して家に帰

六月四日はむし菌予防デーです。これを機会に今一度自分の歯を見なおしてください。

歯は一度悪くなると二度と良くなることはありません。放っておくと、結局は抜かなければならぬくなります。むし菌のできてしまった人は、早期治療しか方法はありません。しかし、乳幼児等ではまだまだ予防ができます、今回はその歯についてです。

むし菌は病気です。最近は一歳児・二歳児にもむし菌は多くみられます。東白川村の五十年三歳児検診の結果、むし菌を持っている子は、全体の八七%ありました。この中には二十本

ほとんど全部がむし菌になつている子もありました。

むし菌は病気でなく、放っておけばいずれ生え変わると安心しておられるお母さんが多くあります。しかし、むし菌も病気のなのです。そして、これが原因で腎炎リウマチ熱

やいろいろな慢性的感染病になることもあります。また、むし菌があるために、食欲をなくしたり、偏食になることもありますこの点を覚えておいてほしいものです。



むし菌予防

一、子供を甘い物好きにしない、子供は味をしりません、離乳食の時に母親が甘い物好きにしないよう、気をつける。また、祖父祖母もむやみにチョコレートや、アメなどを子

二、子供を甘い物好きにしない、子供は味をしりません、離乳食の時に母親が甘い物好きにしないよう、気をつける。また、祖父祖母もむやみにチョコレートや、アメなどを子

目より乳歯ができてはじめる。きはじめ、誕生と同じ頃から、永久歯ができてはじめる。

三、食後は必ずブラッシングをする。乳幼児の頃は自分では無理だから、お母さんがやってやる。また、ブラッシングの習慣づける事大切である。以上は全くのポイントだけです。乳幼児のむし菌は母親の責任です。気をつけてください。

東京村人会

八月一日に里帰りを計画

第十五回総会をレポート

東京東白川村人会（会長渡辺海兵会員七十人）の総会が四月二十五日に東京新宿の市谷会館で開かれました。

当日は、村人会の会員の皆さん約三十人が参加され、村からも企画広報課長らが出席し、村の近況を報告しました。

村人会の総会も回を重ねること十五回となり、東白川村をふるさととされる人たちの連帯の場として、いよいよ充実した活動をされているようでした。

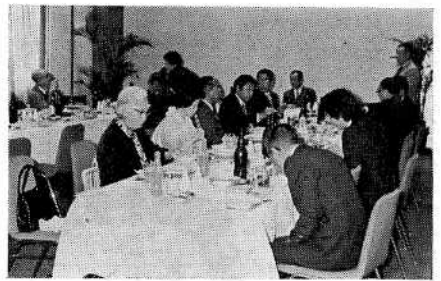
総会は和気あいあいのうちに進められ、五十一年度の事業計画など

どが決まり、八月一日には里帰りも計画されました。

総会後の懇親会では、もっぱらふるさとの話題に花が咲き「この手の傷は、左義長の薪を集めるとき、なたで切った時のものだ」など悪童だっ少年少女時代の思い出

話してもちぎりでした。

しかし、若い人の参加が少ないことがこの会の悩みで、当日の議題にもこのほり、どうしたら若い人たちの参加を得られるかいろいろ話し合いがされ、役員の中に若い人を加え積極的に働きかけるとともに会そのものも若い人たちに魅力あるものにしていくよう努力されることになりました。



▲ なごやかな総会風景



キツキの巣
五加小で発見

桜の木にキツキが巣を作っていると聞いて早速出かけてみました。そんなに高くない所に直径3cmほどのコンパスで測ったような丸い穴をあけていました。

隣の木に登りカメラをかまえること20分、意が通じたのかようやく顔を出してくれたところをバネリ。

卵を暖めているとのこと、五加小のよい子たちに見守られ丈夫なヒナがかえることでしょう。

東白川を遠くはなれ、大都会で生活して行く者同志がお互いに助け合い、励まし合い、よろこび合う場とし、もっと連帯意識をもってほしいと呼びかけておられます。

葉桜の蔭に憩ひて見はるかす新巢の峰は霞がくれば
ストーブに温められし味噌汁の香りこもりぬ小さき部屋に
病める叔父求めてやまぬもの一つ泉より湧くふるさとの水
日を追ひて明るさ伸びる夕べにて外の稼ぎに自信を覚ゆ
通勤のバスの窓べに一ひらの花の吹雪はかすめて過ぎぬ
霜害を受けたる茶畑見渡しつ天災とは云へあきらめがたし
石一つ起せば黄なる草の芽に生きる力のみなぎり光る
頬にふるる風は冷たし早春の島に出てて桑に施肥する
哀れにもかなしかりけり美しき乳房を見せて踊りし娘あり
（温泉余情）
舗装路に小さき手袋掌をひろげ落ちてみて雨ざざと降る
おやすみと言葉かけつつペダル踏む生徒の顔に雪吹きつくる
尿知らず子に起されて目覚むれば二ヶ月振りの雨降りて居り
ふつつかな一生のことも白雲ぞ匂ふ松の苗を植えつつ
早や上りせよとてお茶を持ち来しはモンペをはきし金婚の妻
田口良三



糸の 備品

あなたの作品をお寄せ下さい

- ・初心者、特に若い人達の投稿を歓迎します。
- ・毎月末までに神戸田口良三宛に出して下さい。

ます。

ふるさとをはなれて、数十年たつても東白川村のことをかたときも忘れず将来を期待をもって、速くから見守ってくださる人たちがたくさんおられることを、再認識したいものです。

葉桜の蔭に憩ひて見はるかす新巢の峰は霞がくれば
ストーブに温められし味噌汁の香りこもりぬ小さき部屋に
病める叔父求めてやまぬもの一つ泉より湧くふるさとの水
日を追ひて明るさ伸びる夕べにて外の稼ぎに自信を覚ゆ
通勤のバスの窓べに一ひらの花の吹雪はかすめて過ぎぬ
霜害を受けたる茶畑見渡しつ天災とは云へあきらめがたし
石一つ起せば黄なる草の芽に生きる力のみなぎり光る
頬にふるる風は冷たし早春の島に出てて桑に施肥する
哀れにもかなしかりけり美しき乳房を見せて踊りし娘あり
（温泉余情）
舗装路に小さき手袋掌をひろげ落ちてみて雨ざざと降る
おやすみと言葉かけつつペダル踏む生徒の顔に雪吹きつくる
尿知らず子に起されて目覚むれば二ヶ月振りの雨降りて居り
ふつつかな一生のことも白雲ぞ匂ふ松の苗を植えつつ
早や上りせよとてお茶を持ち来しはモンペをはきし金婚の妻
田口良三

西野 安江 澄
下野 安江と志江 幸
柳山 安江
加舎尾 今井 志津
柏本 安江 勉 夫
大町 安江 香
中通 村雲 菊 江
平 安江 守 平